平成30年度　指導と評価の年間計画

（大阪府立西淀川高等学校　全日制の課程　普通科）

科目（教科）	単位数	学年	教科書名（出版社）	副教材名等（出版社）
工芸Ⅰ（芸術）	2	3	工芸Ⅰ（日本文教出版）	なし
担当者より	工芸では「生活で使うものをつくる」を基本として授業を行います。美しいものを作ることも勿論ですが、使える物をつくることが目標です！ 諦めず、投げ出さず、こつこつ行うことにより、良いものが出来上がります。諦めずにしっかり良いものを作り上げましょう！			

到達目標 【学習指導要領】	基本的な道具の使い方を身につける。一つ一つの工程を大切にし、継続した作品制作意識をもたせる。

評価の観点	観点の趣旨	評価方法
①工芸への関心・意欲・態度	工芸の創造活動の喜びを味わい、身近な生活及び社会における工芸や工芸の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	提出作品 ワークシート
②発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、身近な生活や社会的な視点から心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え制作の構想を練っている。	提出作品
③創造的な技能	創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表している。	提出作品
④鑑賞の能力	工芸作品などの表現の工夫や工芸の伝統と文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	授業発言など

学期	単元・教材名	評価のポイント					指導と評価	評価方法
		①	②	③	④	—		
1学期	オリエンテーション	○					工芸教室の使用法や道具の確認、授業の進め方や単位取得についての確認 ①興味を持って聞いているか。	ワークシート
	陶芸「土練り、練習課題」 陶芸「箸置きを作る」 陶芸「はにわを作る」	○	○	○	○		・陶芸制作に必要な道具の名前、陶芸制作過程を理解する。 ・陶芸の基本的な制作手順を理解する。 ・板作りでの皿の制作・手びねりによる成型、削りを学ぶ。 ・土練を体験する。 ・食卓の箸置きやはにわの作成をする。 ①素材に興味関心を持って、主題を生成しているか。 ②生活に基づいて美しさや形を発想しているか。 ③主体的に技法を学び、工夫して表現できているか。 ④相手の作品に興味関心を持って聞いているか。	授業発言 提出作品 ワークシート
2学期	ステンドグラス「ペン立て」	○	○	○			・ガラスの置き方やガラスの構成を先にプリントに描かせ、完成イメージを明確にする。 ・普段目にするガラス材を工芸の素材とすることでものを違う視点から見る力を養う。 ・ガラスカットに必要な道具の使い方を理解する。 ・はんだごてを使い、ガラスを接合してペン立てを作る。 ①素材に興味関心を持って、主題を生成しているか。 ②生活に基づいて美しさや形を発想しているか。 ③主体的に技法を学び、工夫して表現できているか。	提出作品 ワークシート
	陶芸「施釉」	○		○			・釉薬の種類について学ぶ。 ・施釉工程を理解し施釉する。 ①素材に興味関心を持って、主題を生成しているか。 ③主体的に技法を学び、工夫して表現できているか。	提出作品 ワークシート
3学期	シルバーリング作成		○	◎			・シルバーリング制作の工程を理解し、作品をデザインする。 ②生活に基づいて美しさや形を発想しているか。 ③主体的に技法を学び、工夫して表現できているか。	提出作品